

Post-CC OSCE

【責任者】

教務部長

【担当者】

〔医学教育センター〕 蓮池 由起子 医学教育センター長、庄司 拓仁 教育准教授

〔その他教員〕 臨床各科教員

Post-CC OSCE は従来、Advanced OSCE と呼ばれていたものが発展したものである。Advanced OSCEとは臨床実習修了時や卒業時、卒後研修期間に実施されるもので、厚生労働省 OSCE、卒業時 OSCE、研修医 OSCE、医師国家試験 OSCE などと呼ばれている。本学では卒業時アウトカム評価、学生の形成的評価、臨床技能の到達目標の明示、臨床実習の教育効果判定などを目的に 2003 年度より実施してきた。

2020 年度からは Post-CC OSCE として共用試験実施評価機構により全国で統一した形で実施され、医学教育のアウトカム評価の締めくくりとして大変重要である。

Post-CC OSCE は、共用試験実施評価機構からの課題は各ステーション 16 分間を原則とする。課題の内容は非公開である。他に大学独自の課題を実施する。服装や身だしなみについては他の学年の模範となる気持ちで整え、6 年生の自覚を持って真摯な態度で受験すること。(別記)

また、大学独自の再試験を予定しているため、不合格者は必ず受験すること。再試験不合格の場合は、1 課題につき卒業総合試験総点より点数を差し引く(項目別評価:50%未満・・・「-5 点」、概略評価:2 以上 3 未満・・・「-5 点」、2 未満・・・「-10 点」)。

本試験:2026 年 7 月 4 日(土)

再試験:2026 年 7 月 30 日(木)

【注意】

課題の内容は厳格な守秘義務があり、不合格者に対してどこが悪かったのかというフィードバックは課題の内容に抵触するため、行うことが共用試験実施評価機構より禁止されている。繰り返すが、課題内容を友人や後輩に伝えることは課題漏洩なのでもちろん禁止である。課題内容を再現する等もってのほかであり、係わった学生は不合格だけでなく、懲罰の対象となる。

正当な理由のない欠席ならびに著しい不勉強、準備不足、無気力は履修放棄とみなす。履修放棄、剽窃・捏造などの不正行為は留年とする。

・ 身だしなみの注意

学生は、患者さんを診察するのに相応しい服装、髪型、履物を身につける。判断の基準は、患者さんの立場にたって、不審、不快でないと思われること。不適切な学生は参加させない。

〈白衣(ケーシー)、名札〉

- ・こまめに洗濯し、交換すること。しわ、汚れやしみのあるもの、破れたものは着用しない。
- ・ずり落ちたズボンなどサイズの合わないものは着用しない。裾上げ等を必ず事前に行うこと。
- ・半袖ケーシーの襟や袖からアンダーシャツ、長袖を出さない。厚手の下着等で調節すること。
- ・肌、下着、Tシャツ等の柄などが白衣やケーシーから透けてはならない。
- ・名札は必ず着用し、胸の位置につける。首からかけるタイプは不可。

〈履物〉

- ・白色の運動靴、上履きを着用(サンダル、スリッパ、下駄、合成樹脂性の履物は不可)。
- ・靴下は必ず着用し、白色を原則とする。くるぶしが十分隠れるものを着用すること。

〈頭髪〉

- ・感染予防の観点から白衣に付着させない。
- ・寝癖や乱れを整える。
- ・茶髪の染髪、染髪を隠す黒彩は不可。
- ・女子で白衣にかかる場合は髪をまとめ、ポニーテールではなくお団子にすること。まとまりにくい場合はヘアピンやネット等を使用し、髪が飛び出さないようにする。
- ・男子は髪が襟にかからないこと。(後ろでまとめるのは禁止)
- ・男女とも長い前髪は不可。

〈その他禁止事項〉

- ・ペインティングした爪
- ・アクセサリ、過度の化粧や香水
- ・カラーコンタクト
- ・刺青、タトゥー
- ・すべての種類のひげ、長いもみあげ
- ・喫煙
- ・白衣での外出など

〈マスクについて〉

- ・マスクは白色で一定の性能を有するマスク(不織布製)を着用すること。